



でんえい会誌 第29号

名古屋工業大学電気系同窓会誌

<http://www.denei.jp/>



＜新たな夜間教育への改革＞

電気・機械工学教育類 岩崎誠 (E61)

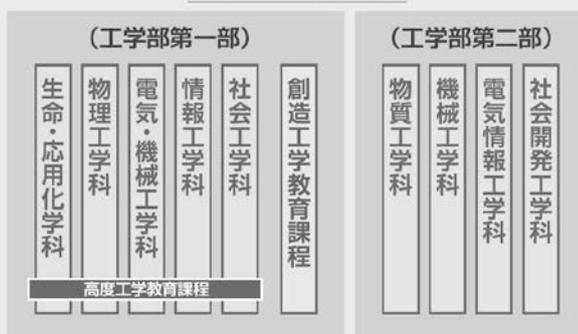
名古屋工業大学工学部第二部は、「名古屋工業大学短期大学部」を前身として1959年に設置され、勤労学生に対する夜間での学術教授・研究を担ってきました。しかし、社会情勢の変化に伴い、働きながら夜間に学ぶ学生が少なくなり、本来の夜間学部としての役割を果たしているとは必ずしも言い難い状況となっているのも事実です。一方で、工科系専門学科を中心とする工業高校の多くでは、卒業後の進路として大学進学も選択肢に入れた進路指導をしており、さらに産業界や行政でも従業員の希望に応じて大学での受講・学修や夜間部への入学を推奨・許可している事業所が少なくありません。これらの社会的な要請に鑑み、工科系専門学科を卒業する生徒や就業中の方へ“多様な学びの場”を提供し、「製造・施工部門」と「研究・開発部門」の橋渡しができる

人材を育成することが急務です。以上の背景から、ページ下構想図に示すように、2022年度に工学部第二部の4学科を改組し、新たに“基幹工学教育課程（夜間主）”を設置して工学部に組み込み、新たな「働きながら学ぶ」夜間教育へ改革します。

新たな教育課程では、機械、エレクトロニクス、製造設備など、中京地域の産業構造を反映した学びの分野を設計するため、「電気・機械工学コース」と「環境都市工学コース」の2コースを編成し、徹底した工学基礎教育と実践教育を通じ、製造・インフラ産業の現場でリーダーとして活躍する「創成人材」の養成を目指します。1学年あたりの定員はこれまで同様20名ですが、高大接続を重視し、工科系高校からの学校推薦型選抜を中心に学生を募集し、近隣企業の協力により就職支援を行うなど、進学と就職を一つのスキームとしています。さらに、“夜間主”の特徴を生かし、昼間部の授業を一部履修すること

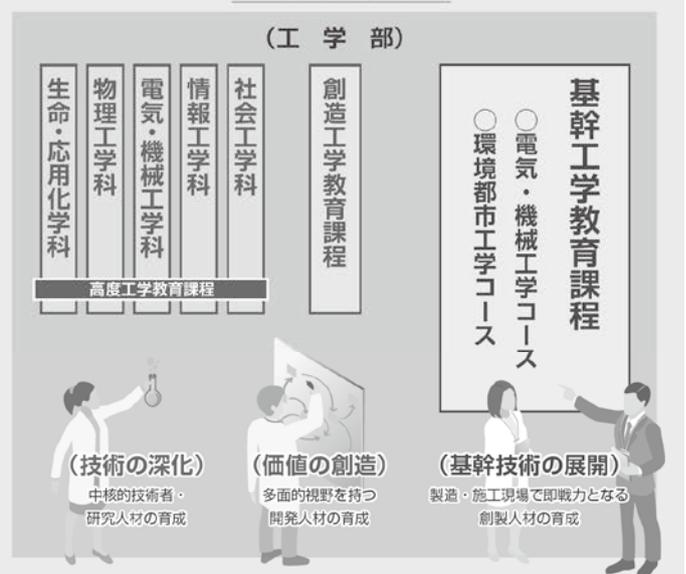
構想の概要

2021年度まで



工学部第二部の4学科は再編され、新たに夜間教育を主とした基幹工学教育課程が誕生します。

2022年度から



や、オンデマンド講義の充実など、時間・空間的にフレキシブルな学習環境を整え、働きながら学ぶ学生をサポートします。

名古屋工業大学だからこそ可能な「基幹的工学の実践教育実現」のために、学生は工学の専門基礎を学びながら、就業現場に関する“課題解決型学習（PBL）”に取り組み、5年間で実践的なスキルを磨きます。PBLでは、大学（学生とメンター教員）と企業が連携し、製造・施工現場で即戦力となる技術者・研究開発者を育てることをミッションとし、本来の夜間教育の目的に立ち戻り、名古屋工業大学の特長を生かした中京地域への社会貢献を目指すのです。

本課程設置に当たって、学長特別補佐（第二部改革担当）として、工業高校や近隣企業の皆様には構想準備初期段階から多くのご意見を頂戴しました。ここに、厚くお礼申し上げます。電影会の皆様には、本課程の教育・研究活動に対しまして、ご支援、ご指導・ご鞭撻の程、よろしく申し上げます。

＜国際連携情報学専攻＞

情報工学教育類 加藤昇平

（国際連携情報学専攻 専攻長）

【趣旨】人工知能（AI）、ビッグデータ、IoT等の技術革新により産業構造等に大きな影響を与える第4次産業革命時代に向け、イノベーション創出への取組を世界各国の政府、企業等が行っています。我が国においても、“サイバー空間とフィジカル空間（現実社会）が高度に融合した社会”である「超スマート社会」の世界に先駆けた実現を目指し、各種の取組が推進されているところです。第4次産業革命に対応し、超スマート社会を実現するためには、その中核技術である人工知能（AI）、ビッグデータ、IoT等の情報学分野のイノベーションをリードできる高度な知識・技術を身につけた研究者・技術者の存在が必要不可欠であり、高等教育機関における人材養成

への期待は今後さらに増すものと予想されます。名古屋工業大学は、人工知能（AI）、マルチエージェントシステムを中心とする情報学分野で長年にわたり共同で教育研究活動を展開しているウーロンゴン大学と連携し、両大学の教育研究資源を活用したジョイント・ディグリープログラム（日本の大学が外国の大学と連携し、共同で開設した教育課程を修了した学生に対し、共同で単一の学位を授与する制度）による国際連携情報学専攻を設置することによりその要請に応えます。

【ウーロンゴン大学の紹介】ウーロンゴン大学（UOW）は、オーストラリアのニューサウスウェールズ州ウーロンゴン市にある公立大学で、1951年に創立されました。ビジネス学部、工学・情報科学部、法学・人文学・芸術学部、理学・医学・保健学部、社会科学部の5つの学部を設置し、学生数約3万3千人を誇る総合大学であり、学生の約40%が留学生と非常に国際色豊かな大学です。また、世界大学ランキングの上位2%以内（218th in the world - QS World University Rankings 2016/2017等）に位置するなど、国際的にも高い評価を獲得しています。

【カリキュラム】本専攻では、両学から1名ずつの指導教員を配置し、2名の指導教員が連携して学生が作成する研究計画の内容に鑑み、学生一人ひとりの研究の独自性や研究進捗状況に応じた指導計画の下で研究を指導します。標準修業年限は3年間であり、在学期間中の1年間（2年次の1年間）は連携大学に滞在して研究を行います。名古屋工業大学で入学手続きを行った学生の場合、1年次は名古屋工業大学で研究を進め、専門的知識を学ぶことで専門的洞察力を深めます。2年次はオーストラリアに渡航してUOWの指導教員の下で同大学の強みとする分野を学ぶことで研究内容を補完するとともに、異文化との出会いを通じて国際的俯瞰力を深めます。そして3年次は再び名古屋工業大学に戻り、研究成果をまとめて博士論文を完成させ、両大学の指導教員等で構成される合同論文審査委員会に博士論文を提出して研究成果をプレゼンし、口頭試問、最終試験を受け

ます。

【初の卒業生】名古屋工業大学から入学の GU Wen さん、MISHRA Pankaj さんの2名が2021年度修了生として卒業されました。名工大初のジョイント・ディグリープログラムのため、両大学での調整、運営に苦労しました。更に通常2年目に実施するオーストラリアでの履修がコロナの状況もあり渡豪できず、最終年度にオンライン履修にてUOWの指導を受けました。在学中にGUさんは論文誌2件、国際会議6件、受賞6件と優れた業績を残しました。また、MISHRAさんも論文誌3件、国際会議5件、受賞4件と優れた業績を残しました。両氏は名工大だけではなく、UOW側の全く異なる研究指導を体験し、専門分野のエキスパートである審査員の合同論文審査を通過し、2022年3月に学位授与されました。

【学位記】授与された学位記には、名古屋工業大学およびUOW双方の学長サイン、学章ならびにシールが刻印され、Doctor of Philosophyの学位が高々と輝いています。

名古屋工業大学の情報学分野が強みとするAI、マルチエージェントシステムの世界最先端研究に加えて、オーストラリアの指導方法・研究方法により、専門性をさらに深め、グローバルに活躍できる人材として彼らの今後の活躍が一層期待されます。



専攻長の加藤教授（中央）と卒業生（両端）

＜RoboCup Asia Pacific 準優勝＞

電気・機械工学教育類 佐藤 徳孝

森田・佐藤研究室内ロボコンチーム NITRo

電気・機械工学科電気電子分野森田・佐藤研究室では、佐藤指導学生がNITRoというチームを結成し、2012年よりロボット競技会RoboCupに参加しています。RoboCupとは2050年までに自律ロボットによるサッカーチームがワールドカップ優勝チームに勝利することを目標とした国際ロボット競技会です。サッカーで培った技術の社会展開としてレスキューロボットリーグ、@ホームリーグなど様々な競技が行われており、NITRoはレスキューロボットリーグに参加しています。本稿ではRoboCup Asia Pacificの参加報告を行います。

RoboCup Asia Pacificは2017年より行われ、2021年で4回目の開催となります。2021年大会は11月25～29日の日程で愛知県SkyExpoにて開催されました。今大会のレスキューロボットリーグは、新型コロナウイルス感染症のため、海外チームは参加できず、世界大会出場常連チームや日本大会の強豪チームなど、国内の6チームが参加しました。

（大会全体では遠隔競技等を実施したリーグがあったため、23の国と地域から320チームが参加）

2021年度のNITRoは学生4名のチーム（図1）であり、卒業生にも助言を得て、ワールドロボットサミット、RoboCup Asia Pacificに向けて新たなロボットを一から製作しました（図2）。ワールドロボットサミットが10月上旬に、RoboCup Asia Pacificが11月下旬に行われたため、当初はワールドロボットサミットでの活躍を目指して開発を進めました。しかし、開発に手間取り、ワールドロボットサミットでは満足な動作ができなかったため、RoboCup Asia Pacificまでの1か月半で大幅な改良を重ね、大会当日を迎えました。



図1 チームメンバーの集合写真（表彰式後）

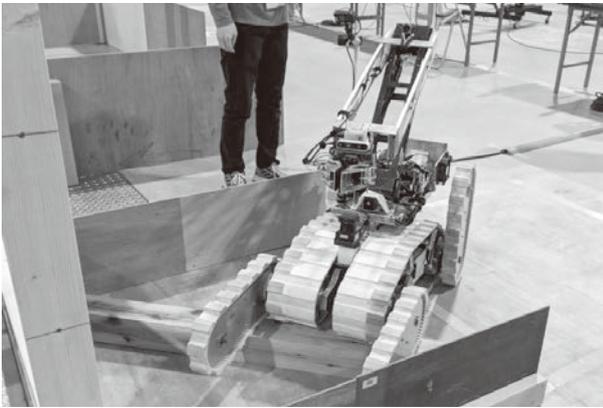


図2 新たに開発したロボットの競技中の様子

RoboCup レスキューロボットリーグの予選競技は体操男子総合や陸上十種競技のように、レスキューロボットに求められる課題タスクが複数与えられます。制限時間内でロボットが課題タスクを繰り返せた数に基づき各課題タスクの点数が決定し、その合計点により決勝進出チームを決めます。決勝では予選の課題タスクを組み合わせた総合競技が行われ、最終順位を決定します。2021年のRoboCup Asia Pacificでは、狭路走行、バルブ操作、ペグインホール、障害物除去、壁面調査という5つの課題タスクが予選で与えられました。

NITRoは狭路走行および障害物除去では後れを取りましたが、壁面調査タスクで他の追随を許さず、予選を2位で突破しました。決勝では優勝した長岡技術科学大学のチームにわずかに及ばず準

優勝となりました。

優勝できなかったことは残念でしたが、大会前の状況から開発したロボットは走破性が低く筐体大きいことから狭路走行と障害物除去が苦手であることは想定内でした。そのため、準優勝という結果もロボットの実力を出し切れたため、チームとしては納得の結果でした。次年度に向けて、開発したロボットの短所を克服できるよう、改善に取り組んでおり、優勝を目指して大会に臨みたいと考えています。

今後の更なる飛躍を誓うとともに、支援・応援いただいた方々に改めて御礼を申し上げます。

<名古屋工業大学 40年間の思い出>

極微デバイス次世代材料研究センター

江川孝志

学生として9年間、教員として31年間過ごした名工大をこの春に定年退職することになりました。入学の頃は、学生運動の名残りが残っているという状況でした。名工大へは、平成3年4月に電気情報工学科の助手として着任し、学生実験を担当するとともに、卒研や院生の指導補助を担当しました。その後、平成5年5月に極微構造デバイス研究センター設立に伴い、助教授としてSi基板上へのGaAsやGaN等の化合物半導体ヘテロエピタキシャル成長（異種基板上への結晶成長）と光・電子デバイスへの応用に関する研究・教育を行ってきました。

特に力を入れた研究テーマは、「GaN/Siヘテロエピタキシャル成長技術」です。開発した「GaN/Si結晶成長技術」は、Si上に高温成長させた初期層と歪を緩和させる多層膜で構成される歪超格子構造を積層させ、この上に原子レベルで制御された

高品質 GaN デバイス層を成長させると言うものです。この技術を用いると、従来の Si 基板が Si と GaN の両者の特徴を兼ね備えた大面積・低コストの「GaN/Si エピ基板」として生まれ変わり、この技術を用いて開発した Si 基板上の AlGaIn/GaN 高電子移動度トランジスタは、従来の電力変換用 Si パワーデバイスと比較して、小型化・高効率化・省エネルギー化において特性を大幅に改善できるため、スマートフォンや携帯電話用の高速充電器等の民生用エレクトロニクス分野で実用化されており、電力の有効利用及び CO₂削減に貢献するものと考えています。

この間、平成 25 年に窒化物半導体マルチビジネス創生センター（経済産業省「技術の橋渡し拠点」）が設立できたことは、関係者のご協力のお陰と感謝しております。

これらの成果は、梅野正義先生（本学名誉教授）をはじめ、研究室に在籍した卒研究生、大学院生、ポスドクの方々及び共同研究でお世話になりました企業の方々の献身的なご協力があつて初めて達成できたことを記し、ここに感謝の意を表したいと思います。最後に、名古屋工業大学のさらなる発展、卒業生・教職員の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

＜2021 年度の就職状況について＞

電気電子工学教育類 就職担当 平田 晃正

2021 年 3 月卒業予定の学生を対象に進路指導を行いました。

学部生、第二部学生、博士前期・後期学生の約 220 名の学生が対象であり、そのうち学部生は進学希望者が多いことは例年同様でした。コロナ禍の影響を大きく受けることなく、求人企業や業

種も例年なみの 500 社以上の求人がありました。

今年度も企業との面談はオンラインでの業種情報提供となりましたが、学生は問題なく就職活動に取り組んでいました。緊急事態宣言などもあり、求人票や企業アンケートの電子化を積極的に進めることで学生の利便性の環境づくりを中心に、進路指導に努めました。選考スケジュールについては、経団連の採用選考指針では会社説明会 3 月 1 日解禁、選考は 6 月 1 日開始とされていましたが、実際には 2 月あるいはそれ以前に面談、事前選考が行われていた企業もあるようでした。

インターンシップの在り方もコロナ禍で変容しており、オンラインでの体験型長期インターンシップが増え、1 day 参加型もオンラインではあるものの企業の雰囲気を知る場として機能、最終選考まで Web で完結させた学生も半数を超えている状況です。それ以外の特徴としては、トヨタ自動車が学校推薦を撤廃したことにより、推薦希望企業にも影響したように感じられました。

ご支援をいただきました本学 卒業生の方々をはじめとするお世話になった皆様に厚く御礼を申し上げます。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

情報工学教育類 就職担当 大園 忠親

2022 年 3 月卒業の情報工学関連の研究室の学生の就職担当を務めさせていただきました。情報工学科・情報工学専攻を中心とした情報系の進路指導対象学生は、一部学部生 147 名（うち就職希望 33 名）、二部学部生 6 名（うち就職希望 5 名）、大学院学生（前・後期）124 名（うち就職希望 116 名）と、例年とほぼ同数でした。本学情報系 学生に対していただいた求人数もほぼ例年とかわらず、全 323 社から求人票をご送付いただき、うち今年度

からの新規を含めた 264 社から推薦枠をいただきました。

各社の採用意欲は旺盛でした。特に AI 人材に関する本学への強い期待を感じました。AI 人材獲得のための特別選考を設けられた企業様の話しも伺いました。AI 人材に限らず、従来の情報系の求人にも留まらない、幅広い分野からの求人をいただきました。一方、学校推薦には大きな変化が感じられました。今年度は、大手自動車メーカーが学校推薦を取り止めました。これは他社にも少なからず影響すると思います。ジョブマッチングを伴う学校推薦は、学校推薦の形骸化を象徴していると感じます。

情報系学生に対する進路指導は、昨今の採用活動の早期化に対応するため、11 月下旬の第 1 回進路指導説明会を皮切りに、2 回の学科による説明会、3 月の本学主催企業研究セミナーや電影会主催による卒業生と学生との懇談会を通じて行われました。ジョブマッチング型をはじめとする採用方法の多様化に対応するために、各企業様には多大なるご協力を賜りました。お陰様で年内には進路決定率ほぼ 100%を達成することができました。

企業様との面談や学生への進路指導は、ほぼ全てがオンライン化されました。具体的には、動画配信により進路指導ガイダンスを実施しました。個別の学生指導にはチャット、メール、ビデオ会議を利用しました。また、今さらと笑われそうですが、保護者様へのご連絡や、学生からの提出物をペーパーレス化しました。例えば、進路希望調査票の提出をオンライン化し、押印も不要としました。一方、伝統文化保全のため、就職担当教授用の仰々しいハンコを作成しました。

情報系進路指導室（20 号館 6 階）をリニューアルしました。この目的は、コロナ後に備えること

でした。一時期は、新しい進路指導室にて面談を行っていましたが、結局は進路指導室での面談を断念しました。進路指導室には、就職担当事務員が常駐するようになり、少なくとも今回のリニューアルは、就職担当事務員には大好評です。

オンライン化により、面談を手軽に行えるという利便性の向上の反面、学生との面談における不自由さを感じます。現在の技術水準では、オンラインの面談において、学生の心の微細な機微を感じ取ることが容易ではありません。今は、進路指導室にいる就職担当事務員が、学生との良い相談役です。学生にとっては、進路指導室に実際にいる事務員の方が、オンラインの教員よりも相談しやすいようです。今後、メタバースにて面談できるようになれば、何かが変わるかもしれませんが、旧態依然とした進路指導への導入にはもうしばらく時間がかかりそうです。

末筆となりますが、ご支援を賜りました本学卒業生の方々をはじめとする皆さまに厚く御礼を申し上げます。今後とも変わらぬご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

2021 年度事業報告

1. 会合

| | | |
|---------|------------|-------|
| ○電影会総会 | 2021.5.28 | オンライン |
| ○第1回役員会 | 2021.10.25 | オンライン |
| ○学内幹事会 | 2021.12.6 | オンライン |
| ○第2回役員会 | 2022.2.21 | オンライン |
| ○幹事会 | 2022.3.18 | オンライン |

2. 事業

- 学生向け講演会
 - (1) 2022.1.31:橋本英樹氏(ごきそ技術士会)、鈴木克彦氏(J57)(ごきそ技術士会)
 - (2) 2022.2.22:三田祐子氏、高野仁美氏、林加代子氏(日本ファシリテーション協会 中部支部) 題目:アイスブレイクのための4象限自己紹介
- 新入生向け電影会案内:一部・二部学生、編転入生に対して実施
- 卒業祝賀会 実施見送り
- 電影会会誌発行(第29号)2022.5
- 大学行事補助 0件
- 電影会賞贈呈 2022.3.26
- 卒業生と学生の懇談会 2021.12.6(オンライン)

2021 年度決算

| 科目 | 収入 | 科目 | 支出 |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 繰越金 | 2,925,631 | 通信費 | 701,861 |
| 入会金 | 2,105,000 | 印刷費 | 613,199 |
| 工業会より | 0 | 事務費 | 0 |
| 利息 | 44,351 | 会合費 | 7,095 |
| 雑収入 | 0 | 学生行事補助 | 156,062 |
| 寄付金 | 1,012,561 | 大学行事補助 | 0 |
| | | 総会補助 | 2,420 |
| | | 支部活動費 | 150,440 |
| | | インターネット経費 | 9,605 |
| | | 雑費 | 750 |
| | | 人件費 | 300,000 |
| | | 繰越金 | 4,146,111 |
| 合計 | 6,087,543 | 合計 | 6,087,543 |

2022 年度事業計画 (案)

1. 会合

- 電影会総会 ○役員会
- 幹事会 ○学内幹事会

学位取得者一覧

電気・機械工学専攻 (2022年3月 課程修了者)

| 氏名 | 論文題目 | 主査教員名 |
|--------------------------|--|-------|
| 武井 賢太 | 高温環境で使用する小型高推力なスタックブル電磁アクチュエータの設計と特性解析 | 竹下 隆晴 |
| AHMED ISMAIL MOHAMED ALI | Transformer-Based Single-Stage Differential and Multilevel Converter Topologies and Its Control Techniques | 竹下 隆晴 |

2. 事業

- 新入生向け電影会案内 ○学生向け講演会
- 電影会会誌発行 ○卒業祝賀会 ○電影会賞
- 大学行事への補助 ○卒業生と学生との懇談会
- 名古屋工業会との連携

2022 年度予算 (案)

| 科目 | 収入 | 科目 | 支出 |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 繰越金 | 4,146,111 | 通信費 | 750,000 |
| 入会金 | 1,290,000 | 印刷費 | 800,000 |
| 工業会より | 0 | 事務費 | 10,000 |
| 利息 | 100 | 会合費 | 80,000 |
| 雑収入 | 280,000 | 学生行事補助 | 420,000 |
| 寄付金 | 1,100,000 | 大学行事補助 | 60,000 |
| | | 総会補助 | 55,000 |
| | | 支部活動費 | 150,000 |
| | | インターネット経費 | 10,000 |
| | | 雑費 | 10,000 |
| | | 人件費 | 320,000 |
| | | 繰越金 | 4,151,211 |
| 合計 | 6,816,211 | 合計 | 6,816,211 |

2022 年度役員(案)

- 名誉会長 犬飼英吉(E28)
中村光一(E41)
北村正(Es48)
- 会長 石橋豊(J56)
- 副会長 川越英二(E47) 原田幹寿(E53)
安藤幹人(E57) 犬塚信博(J62)
- 理事 岩塚真之(E56) 山中清(J52)
森田良文(E62) 三宅正人(E60)
川村信之(E53)
- 監事 市原正樹(E48)
- 庶務理事 廣瀬光利(E50) 後藤富朗(EJh9)
- 会計理事 平田達也(J62) 岸直希(EJh12)
- 編集理事 佐藤徳孝(App2011)
佐久間拓人(CSh24)
- 庶務補佐 青木睦(EJh4)
- 会計補佐 大塚孝信(CSh28)

| | | |
|-----------------|---|-------|
| CAO ANH TUAN | Secondary-Resonant Single-Active-Bridge (SR-SAB) DC-DC Converter and Its Control Techniques | 竹下 隆晴 |
| TRAN VU TRUNG | Controller Design for Positioning of Lightweight Two-Ling Robot with Elastic Joints Aiming at Fast and Precise Response | 岩崎 誠 |
| HAQUE MD ISMAIL | Study on Wireless Transmission from In-body to On-body and On-body to Off-body for Healthcare Purpose in an Aging Society | 王 建青 |
| BOSE ARIJIT | Study of AlGaN/GaN HEMTs on 3C-SiC/LR-Si by introducing a thick nitride layer for RF applications | 分島 彰男 |
| 三輪 圭史 | Human Dosimetry and Compliance Assessment for Low Frequency Magnetic Field Exposure | 平田 晃正 |

情報工学専攻 (2022年3月 課程修了者)

| 氏名 | 論文題目 | 主査教員名 |
|---------------------------------|--|-------|
| 伊原 滉也 | 群知能を用いた建設・物流業務の最適化に関する研究 | 加藤 昇平 |
| 北村 直暉 | A Study on Efficient Algorithms for Local Interaction Systems | 片山 喜章 |
| 法野 行哉 | Acoustic and waveform modeling for singing voice synthesis based on deep neural networks | 徳田 恵一 |
| ABDUL MOHIDEEN NUZRATH HAMEEDHA | Network Delay Mitigated Remote Robot Control with Force Feedback for Improved QoS | 石橋 豊 |
| 江口 僚太 | A Study on Sub-linear Time Algorithms in Mobile Agent Systems | 片山 喜章 |
| 松波 夏樹 | マルチエージェント強化学習におけるチーミング機構に関する研究 —連携を促進する組織構造と報酬メカニズムの設計— | 加藤 昇平 |
| HAQBEEN JAWAD AHMAD | A Study on Conversational AI Platform for Participatory Democracy | 加藤 昇平 |

国際連携情報学専攻 (2022年3月 課程修了者)

| | | |
|-----------------------|---|-------|
| PANKAJ PRAKASH MISHRA | Reinforcement Learning aided Optimal Resource Allocation Mechanism for Open Markets | 加藤 昇平 |
| GU WEN | Towards Intelligent Automated Online Forum Facilitation | 加藤 昇平 |

入試・就職状況

2021年度入学者選抜状況

電気・機械工学科 (一部)

| | 推薦 | 前期日程 | 後期日程 |
|------|----|------|------|
| 募集人員 | 30 | 105 | 65 |
| 志願者数 | 81 | 293 | 532 |
| 受験者数 | 74 | 279 | 255 |
| 合格者数 | 30 | 108 | 88 |

情報工学科 (一部)

| | 推薦 | 前期日程 | 後期日程 |
|------|----|------|------|
| 募集人員 | 15 | 85 | 45 |
| 志願者数 | 34 | 260 | 361 |
| 受験者数 | 33 | 245 | 169 |
| 合格者数 | 10 | 94 | 52 |

第一部私費外国人留学生特別選抜

| | 電気・機械工学科 | 情報工学科 |
|------|----------|-------|
| 募集人員 | 若干名 | 若干名 |
| 志願者数 | 18 | 16 |
| 受験者数 | 17 | 15 |
| 合格者数 | 4 | 5 |

編入学・転入学 (一部:3年)

()は内数で転入学数を表す

| | 電気・機械工学科 (電気電子分野) | 情報工学科 |
|------|----------------------|-------|
| 募集人員 | 若干名 | 若干名 |
| 志願者数 | 26(3) | 14(1) |
| 受験者数 | 24(3) | 13(1) |
| 合格者数 | 6(0) | 4(0) |

電気・機械工学コース (夜間主)

| | 推薦 | 総合型選抜 |
|------|----|-------|
| 募集人員 | 8 | 2 |
| 志願者数 | 7 | 6 |
| 受験者数 | 7 | 5 |
| 合格者数 | 7 | 4 |

大学院・電気・機械工学系プログラム(博士前期)

| | 推薦 | 一般選抜 | 私費留学生 |
|------|----|------|-------|
| 募集人員 | 54 | 96 | 若干名 |
| 志願者数 | 56 | 173 | 6 |
| 受験者数 | 56 | 163 | 3 |
| 合格者数 | 55 | 123 | 2 |

大学院・情報工学系プログラム(博士前期)

| | 推薦 | 一般選抜 | 私費留学生 |
|------|----|------|-------|
| 募集人員 | 31 | 71 | 若干名 |
| 志願者数 | 30 | 123 | 13 |
| 受験者数 | 30 | 120 | 9 |
| 合格者数 | 29 | 84 | 5 |

大学院・電気・機械工学系プログラム(博士後期1次募集)

| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|------|------|------|------|
| 9 | 2 | 2 | 2 |

大学院・情報工学系プログラム(博士後期1次募集)

| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|------|------|------|------|
| 7 | 1 | 1 | 1 |

大学院・国際連携情報学専攻(博士後期)

| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|------|------|------|------|
| 1 | 1 | 1 | 1 |

大学院・電気・機械工学系プログラム(博士後期2次募集)

| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|------|------|------|------|
| 若干名 | 2 | 2 | 2 |

大学院・情報工学系プログラム(博士後期2次募集)

| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|------|------|------|------|
| 若干名 | 2 | 2 | 2 |

2021年度卒業生就職状況

| | 電気電子分野 | | | 情報工学科 | | |
|---------|--------|-----|----|-------|-----|----|
| | 大学院 | 一部 | 二部 | 大学院 | 一部 | 二部 |
| 卒業生 | 100 | 118 | 1 | 124 | 147 | 6 |
| 進学者 | 0 | 97 | 0 | 2 | 106 | 0 |
| 研究生 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一般企業 | 95 | 17 | 1 | 116 | 31 | 4 |
| 公務員 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 教員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 帰国(留学生) | 1 | 0 | 0 | 6 | 1 | 0 |
| 休学他 | 4 | 4 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 未定者 | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 | 2 |

電影会賞

この賞は、電影会準会員の向学心向上と優秀な学生の育成を目的とし、卓越した成績で卒業し、今後の科学技術の発展に貢献すると思われる有望な学生を表彰することを目的としています。2021年度の受賞者は以下の方です。

| 氏名, 所属 |
|--------------------|
| 藤澤 孝博, 第一部電気・機械工学科 |
| 佐野 恭輔, 第一部電気・機械工学科 |
| 相田 景悟, 第一部電気・機械工学科 |
| 犬塚 涼介, 第一部電気・機械工学科 |
| 中野 拓海, 第一部電気・機械工学科 |
| 田中 佑汰, 第一部電気・機械工学科 |
| 文田 聖也, 第一部電気・機械工学科 |

| 氏名, 所属 |
|------------------|
| 村松 洗兵, 第一部情報工学科 |
| 片桐 光貴, 第一部情報工学科 |
| 鬼頭 俊一, 第一部情報工学科 |
| 廣瀬 正人, 第一部情報工学科 |
| 神崎 宇弘, 第一部情報工学科 |
| 川西 晶大, 第一部情報工学科 |
| 伊與田 幸介, 第一部情報工学科 |

学生の表彰

紙面の都合上、受賞内容の詳細は省略させていただきます。

| 賞の名称, 氏名, 所属, 指導教員氏名 |
|--|
| ICCCI 2021 国際会議 Best Presentation Award(2021.6), Chen Lu, 情報工学系プログラム, 石橋豊教授 |
| The 2022 Malaysia-Japan Workshop on Radio Technology, Best Student Paper Award, (2022.1), 杉山秀明, 工学部 電気・機械工学科, 杉本義喜助教 |
| 電気設備学会学生研究発表会(2021.12) 準優秀賞, 中村飛翔, 電気・機械工学系プログラム, 安井晋示教授 |
| 日本音響学会東海支部 優秀発表賞(2021年12月), 尾関 日向, 工学専攻情報工学系プログラム, 酒向 慎司准教授 |
| 情報処理学会音楽情報科学研究会 学生奨励賞 Best New Direction 部門(2021年9月), 尾関 日向, 工学専攻情報工学系プログラム, 酒向 慎司准教授 |
| 電子情報通信学会画像工学研究会 IE 賞(2022.3), 小島史也, 情報工学系プログラム, 福嶋慶繁准教授 |
| 電子情報通信学会東海支部 学生研究奨励賞 (2021.6), 大塚友貴, 情報工学専攻, 福嶋慶繁准教授 |
| IEEE 名古屋支部優秀学生賞 (2021.4), 角谷勇仁, 情報工学系プログラム, 福嶋慶繁准教授 |
| 令和3年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会 IEEE 名古屋支部学生奨励賞 (2022.1), 西谷萌, 博士前期課程工学専攻電気・機械工学系プログラム, 森田良文教授 |
| Best Presentation Award, 2021 Japan-Poland International Workshop on Technologies supporting rehabilitation and medical services (2021.12), 西谷萌, 博士前期課程工学専攻電気・機械工学系プログラム, 森田良文教授 |
| 名古屋工業会賞 (2022.3), 大河内達矢, 機械工学科, 森田良文教授 |
| 計測自動制御学会 優秀学生賞 (2022.3), 石垣彰太, 機械工学科, 森田良文教授 |
| 計測自動制御学会 優秀学生賞(2022.3), 栗山圭太, 電気・機械工学系プログラム, 竹下隆晴教授 |
| 2021年度IEEE名古屋支部優秀学生賞(2021.3), 法野行哉, 情報工学専攻, 徳田恵一教授 |
| 日本音響学会第22回学生優秀発表賞(2021.9), 藤本崇人, 情報工学専攻, 徳田恵一教授 |

| |
|---|
| 日本音響学会第22回学生優秀発表賞(2021.9), 角谷健太, 情報工学専攻, 南角吉彦准教授 |
| 日本音響学会東海支部・電子情報通信学会東海支部概要講演賞(2021.9), 平光啓祐, 情報工学系プログラム, 橋本佳准教授 |
| 第16回情報危機管理コンテスト JPCERT/CC 賞 (2021.5), 山本 萌花, 情報工学系プログラム, 齋藤 彰一教授 |
| DICOMO 2021 ヤングリサーチ賞 (2021.6), 熊谷 圭太, 情報工学系プログラム, 掛井 将平助教 |
| 情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会 CSEC 優秀研究賞 (2021.7), 山本 萌花, 情報工学系プログラム, 齋藤 彰一教授 |
| 学長表彰「特別功労部門」(2022.2), 山本 萌花, 情報工学系プログラム, 齋藤 彰一教授 |
| SMASH21 Summer Symposium 奨励賞(2021.9), 伊東佑真, 工学専攻情報工学系プログラム, 大園忠親教授 |
| 令和三年度 電気・電子・情報関係学会 東海支部連合大会 IEEE 名古屋支部学生奨励賞(2022.1), 按田将吾, 情報工学科, 大園忠親教授 |
| SMASH22 Winter Symposium 奨励賞(2022.2), 按田将吾, 情報工学科, 大園忠親教授 |
| SMASH22 Winter Symposium 優秀賞(2022.3), 按田将吾, 情報工学科, 大園忠親教授 |
| 情報処理学会 第84回全国大会 学生奨励賞(2022.3), 按田将吾, 情報工学科, 大園忠親教授 |
| 情報処理学会 第84回全国大会 学生奨励賞(2022.3), 伊藤花帆, 創造工学教育課程, 大園忠親教授 |
| 情報処理学会 第84回全国大会 学生奨励賞(2022.3), Nur Irfan Nafis Bin Md Nor, 情報工学科, 大園忠親教授 |
| 第19回情報学ワークショップ(WiNF2021)奨励賞(2021.11), 原田誠一, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 第19回情報学ワークショップ(WiNF2021)奨励賞(2021.11), 渡邊南美, 創造工学プログラム, 加藤昇平教授 |
| 第19回情報学ワークショップ(WiNF2021)奨励賞(2021.11), 増尾明, 情報工学専攻, 加藤昇平教授 |
| 第19回情報学ワークショップ(WiNF2021)奨励賞(2021.11), 古川翔也, 創造工学プログラム, 加藤昇平教授 |
| 第19回情報学ワークショップ(WiNF2021)奨励賞(2021.11), 花井俊哉, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 第19回情報学ワークショップ(WiNF2021)奨励賞(2021.11), 伊藤有生, 情報工学科, 加藤昇平教授 |
| 2021年度社会情報・知能情報研究会(SI2021)発表賞(2021.12), 原田誠一, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 2021年度社会情報・知能情報研究会(SI2021)発表賞(2021.12), 花井俊哉, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 第20回情報科学技術フォーラム(FIT2021)船井ベストペーパー賞(2021.12), 原田誠一, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| The 5th IEEE International Conference on Agents Best Presentation Award (2021.12), Gu Wen, 国際連携情報学専攻, 加藤昇平教授 |
| 名古屋工業大学学生研究奨励 学長賞 (2022.3), Muhammad Asad, 情報工学専攻, 加藤昇平教授 |
| 名古屋工業大学学生研究奨励 学長賞 (2022.3), 伊原滉也, 情報工学専攻, 加藤昇平教授 |
| 名古屋工業大学学生研究奨励 副学長賞 (2022.3), 木村正子, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 名古屋工業大学学生研究奨励 副学長賞 (2022.3), 佐藤拓実, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 名古屋工業大学学生研究奨励 副学長賞 (2022.3), 花井俊哉, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 名古屋工業大学学生研究奨励 副学長賞 (2022.3), 牛田裕斗, 情報工学系プログラム, 加藤昇平教授 |
| 名古屋工業大学学生研究奨励 副学長賞 (2022.3), Gu Wen, 国際連携情報学専攻, 加藤昇平教授 |
| 電子情報通信学会学術奨励賞(2022.03), 塩満優作, 電気・機械工学専攻, 岡本英二准教授 |
| 電子情報通信学会無線通信システム研究会 2021年度初年度発表者コンペティション最優秀発表賞(2022.01), 浅野敬祐, 電気・機械工学系プログラム, 岡本英二准教授 |
| 電子情報通信学会東海支部学生研究奨励賞(2021.06), 塩満優作, 電気・機械工学専攻, 岡本英二准教授 |
| 電子情報通信学会東海支部卒業研究発表会 優秀卒業研究発表賞(2021.06), 長谷川暁, 電気・機械工学系プログラム, 岡本英二准教授 |
| 電子情報通信学会衛星通信研究会 2020年度衛星通信研究賞(2021.05), 山下裕真, 電気・機械工学系プログラム, 岡本英二准教授 |
| International Workshop on Frontiers of Computer Vision (IW-FCV) Best Student Paper Award(2022.2), 神谷俊樹, 情報工学系プログラム, 佐藤淳教授 |
| 情報処理学会全国大会 学生奨励賞(2022.3), 神谷俊樹, 情報工学系プログラム, 佐藤淳教授 |
| 情報処理学会全国大会 学生奨励賞(2022.3), 佐藤諒, 情報工学系プログラム, 佐藤淳教授 |
| 情報処理学会全国大会 学生奨励賞(2022.3), 鈴木祐太, 情報工学系プログラム, 佐藤淳教授 |
| 情報処理学会全国大会 学生奨励賞(2022.3), 山川賢人, 情報工学系プログラム, 佐藤淳教授 |
| International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT) Best Paper Award(2022.1), 高橋直寛, 創造工学プログラム, 坂上文彦准教授 |
| 情報処理学会全国大会 学生奨励賞(2022.3), 梅津潤也, 情報工学系プログラム, 坂上文彦准教授 |
| 情報処理学会全国大会 学生奨励賞(2022.3), 安井康貴, 情報工学系プログラム, 坂上文彦准教授 |
| 情報処理学会全国大会 学生奨励賞(2022.3), 川口真, 情報工学系プログラム, 坂上文彦准教授 |
| 情報処理学会全国大会 学生奨励賞(2022.3), 高橋直寛, 創造工学プログラム, 坂上文彦准教授 |

電影会運営資金寄付者

以下の方々より寄付をいただきました。ご高配に厚く御礼申し上げます。なお、学科の略語の記載を省略し、卒業年のみ記載させて頂きましたので予めご了承ください。2022年2月末までの寄付分を掲載しております。

昭20 中村武三
 昭22 西川清司 村上庄之介 坪居好夫 中村正雪
 昭23 牧野和正 田中三男 松下昭 水谷末一
 昭24 井上高明
 昭25 泉館昭則 安良城勝也 中村正夫
 昭26 阪口貢 渡邊辰巳 原行一 松原英二 兼子共明
 昭28 嶋田宏 山田速水
 昭29 都筑登 太田耕二 尾関正光 渡邊康男 市川次郎
 昭30 加藤規 北野祐一
 昭31 木林宗治 大嶋光朗 神野茂 辻村尚明
 昭32 水谷安郎 森千鶴夫 岡野修
 昭33 中林幹夫 中谷恭朗 荒井英二 寺社下政美 竹内儀行 藤田正浩 松山幸夫 寺林康治 木村欽哉 山田悦弘
 昭34 鈴木倭 草野洋 山崎善太郎 岡田明義
 昭35 藺田耕一 富田安正 梅野正義 岡田昌孝 大谷健嗣 三浦允之 後藤秋生 中西和義 金子勝藏
 昭36 屋内史郎 黒田和助 馬路才智 小田征一郎 増田勝一 森克彦 西村秀夫
 昭37 半田徹
 昭38 高島裕之 八代弘 是木修一
 昭39 岡田守弘 矢田公一 田村英也 下前哲夫 安田匡一郎 水澤健一 石谷彰康 吉田嶽彦
 昭40 小澤容 志賀康宜 大西旻 田島暁示 山本健美
 昭41 前越久 八神正彦 谷辰夫 神本勝己 中村光一 武井惠一
 昭42 吉村洋典 小島一男 伊藤洋太郎 水野重雄 中山静夫 青木猛 川島征一郎 宇佐美忠男
 昭43 堀尾猛 牧野正俊 森本晃一
 昭44 井上憲二 佐藤恒夫 木原清 菅野宗二 村田扶美男
 昭45 石割三千雄 須藤章夫 松崎敦志 櫛部精次郎 鬼頭正雄 南陽太朗 桶昭一
 昭46 津田孝明 田中隆三 川上光雄 本田行雄
 昭47 川越英二 加藤元三郎 赤塚隆夫 星野幸吉 田島耕一 山内一昭 卯野秀忠
 昭48 市原正樹 米山高志 中島正敏 平尾篤 北村正蓮 蓮田史則
 昭49 緒方善郎 赤木泰文 須藤敏雄 朝倉吉隆 山下修史 秀熊茂
 昭50 浜岡重男 眞鍋和人 浅井良一 萩原義也
 昭51 吉村元 村端晋一 恩地秀男 太田仁啓
 昭52 内海和彦 山口好孝 高石由紀夫 宮脇誠 杓子徹夫 磯村尚
 昭53 明慶寧 山本博彦 木村準 後藤武志
 昭54 竹田治徳 片桐彰夫 村上仁志 大江準三 白井仁 水野守明 大前義信 原信 吉田誠治 杉浦伸明 木村康則
 昭55 貝沼功 岩崎政彦
 昭56 小林正宏 石橋豊 浅羽哲朗 山口初一 嶋田宏 萩原秀和 吉田直人

昭57 安藤幹人 谷本弘二 野口敏彦 市木徹 菊間信良 前川雅俊 鈴木克彦
 昭58 足立利浩 田口秀穂 村上真人
 昭59 坂野正孝 酒井泰誠
 昭60 松田裕昭
 昭61 熊崎昭 伊藤英高 高石一慶 塚田敏彦
 昭62 小栗宏次 森田良文
 昭63 鎌田和弘 後藤篤 猪島政之
 平元 松井茂 三浦篤志 林宏明 林敬 竹内一博
 平2 荒川英夫
 平3 櫻井康子 大橋隆義 小原英行
 平4 青木睦 野村尚史
 平6 斉藤洋一
 平7 園部創 尾崎隆弘
 平8 森脇正志
 平10 佐藤宣夫 布目敏郎
 平12 森下さと子 竹尾淳
 平15 川原淳平 丹羽伸次郎
 平16 松井俊浩
 平18 浅川浩紀
 平20 田中慎一郎 都築賢二 竹内一将
 平21 布川智康 村瀬貴哉 本種和弘
 平22 浅田徳弘
 平26 荒木千佳 田中俊也
 平27 寺島由裕
 平28 長尾英剛 湯浅詠梨
 令3 千賀貴博

学 科 近 況

◎ 学科役職(新年度の電影会関連教職員のみ)

2022年度電気・機械工学教育類・専攻

教育類長/専攻長 菊間 信良 教授
 副教育類長/副専攻長 榎原 久二男 教授

2022年度情報工学教育類・専攻

教育類長/専攻長 片山 喜章 教授
 副教育類長/専攻長 大園 忠親 教授
 内匠 逸 教授
 李 晃伸 教授

2022年度就職担当

電気・機械工学教育類 竹下 隆晴 教授
 情報工学教育類 玉木 徹 教授
 横田 達也 准教授

◎ 2021年度退職教職員

電気・機械工学教育類 江川 孝志 教授
 情報工学教育類 竹内 一郎 教授
 Ahmed Moustafa 准教授

◎ 2021年度新任教職員

情報工学教育類 菊地 真人 助教
 中井 彩乃 助教

総会通知

2022年度の同窓会行事として、電影会総会を下記のように開催することと致しました。コロナ禍の状況ではありますが、今年度はハイブリッド(対面・オンライン=Zoom)にて開催させていただきます。是非ご出席下さいますようご案内申し上げます。なお、昭和45年～47年3月の御卒業で総会に御出席の各位には、ご卒業満50年をお祝い致しまして、記念の品をお贈り致します。

日時:2022年5月27日(金)17:00～18:30

会場: 6号館11階大会議室

会次第: 16時30分 会場受付開始

17時00分 総会

17時30分 講演会

演題: 私が関わった大型プロジェクト研究について:エレクトロニクスの人類貢献とは何か

講師: 大阪大学 産業科学研究所 特任教授 松本和彦氏(Es51)

◎ご出席の連絡は2022年5月20日(金)までに office@denei.jp まで電子メールにてご連絡下さいますようお願い申し上げます。オンライン参加予定者には別途、メールにて Zoom アドレスをご連絡させていただきます。

関西支部からのお知らせ

昨年(2021年)はコロナ禍、初めてのウェブ支部総会となりましたが、20名を超える参加者を頂きました。主催者側も不慣れで不手際もありましたが無事2時間半の会議を終えることが出来ました。参加者各位に改めて御礼申し上げます。さて本年の総会は7月9日(土)の午後を予定しています。しかしながら開催形式については、新型コロナウイルスの状況を今暫く見極めた上で、6月頃には郵送ハガキでご連絡したいと考えています。ご意見等ありましたら、以下のアドレスにお願いいたします。

kansai@denei.jp

関西支部長 川越英二(E47)

名古屋工業会総会のご案内

名古屋工業会 2022年度定期総会及び会員総会が、2022年5月28日(土)に開催されます。皆様奮ってご参加のほどよろしくお願いいたします。

電影会寄付募集のお願い

現在、電影会は名工大へ入学時に皆様からお納めいただいた会費、並びに卒業された皆様からの寄付金によって運営されています。

でんえい会誌の発行やホームページによるサービスを始め、電影会の運営をスムーズに行うため、今後とも皆様からの寄付をお願いいたしたく存じます。よろしく御礼申し上げます。

尚、寄付をいただいた方は、次号にお名前を掲載させていただきます。

一口 : 2000 円

郵便振込先: 00860-9-19618 電影会

名古屋工業大学基金寄付募集のお願い

現在、名古屋工業大学は皆様からの寄附を募集しております。詳しくは名古屋工業大学基金のウェブサイト(<http://www.nitech.ac.jp/kikin/>)をご覧ください。

投稿記事の募集

でんえい会誌の記事を募集いたしますので、会員の皆様からの積極的なご投稿を電影会までお願いいたします。1 ページ約 1600 字です。

編集委員 犬塚信博(J62) 佐藤徳孝(App2011)

後藤富朗(EJh9) 佐久間拓人(CSh24)

岸 直希(EJh12)

発行 名古屋工業大学内電影会

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

おもひ領域 後藤富朗(庶務理事)

E-mail: office@denei.jp URL: <http://www.denei.jp/>

名簿充実にご協力をお願いします

現在、電影会は約 15,000 人の存命会員を擁しています。その中で電影会誌をお届けできているのは半数に過ぎず、あとの半数は消息不明となっています。わたしたちは、より多くの方々に電影会誌をお送りすることで、絆を強くし、多くの情報、質の高いサービスを名工大とともに提供して参りたいと考えています。そこで、名簿の信頼性向上と充実、消息不明数の縮減を進める必要があります。名簿上は消息不明の方も同級生との間で連絡可能であることが少なくありません。同級生の最新名簿をお持ちの方におかれては、是非、その名簿を電影会事務局に送って頂きたくお願い申し上げます。まずは、ご一報ください。(meibo@denei.jp)